

## 5. 沿川まちづくりの基本方針

### (1) 沿川まちづくりの基本方針

**<スーパー堤防整備の必要性>**

- 現在の江戸川区を囲む堤防は、「過去最大の洪水や高潮、地震に対応できる堤防が整備されてきた」が、過去に大水害を被ってきた江戸川区においては、これまでの予測をはるかに上回る洪水、高潮、大地震に対して、「危機管理」として、「さらに堤防を強化」することが求められる
- 予測をはるかに上回る急な異常潮位の高潮による洪水等に対し、いち早く避難できる高台のない江戸川区は、「危機管理」として、「緊急の避難場所になる堤防」が必要である
- 強固な地盤を有する堤防上は、「水害や震災に対応する防災上の拠点」にできる
- 水害の際の「安全な避難経路」が必要である
- 整備が必要な市街地の環境改善の契機になる

**<解決すべき沿川地域の市街地整備上の課題>**

- **密集市街地の改善**
  - ・ 低い不燃化度、建て詰まり、100㎡未満狭小宅地等の改善
  - ・ 幅員4m未満の狭隘な生活道路の改善
  - ・ 住工混在地の整序化、密集している商店街の活性化等
- **基盤整備の推進**
  - ・ 道路の改善、身近な公園の確保等
  - ・ 建築制限等のある土地区画整理事業施行予定区域への早急な対応等
- **河川沿いのアクセス強化**
  - ・ 河川沿いの都市計画道路の整備、堤防上の歩行者動線の魅力化等
  - ・ 河川の防災空間（避難場所、防災船着場等）へのアクセス確保等
- **水辺アメニティの向上**
  - ・ 水辺空間のレクリエーション面での魅力化等
  - ・ 直立型に近い護岸の空間面や利用面での遮断の解消等

**<江戸川区の川との関わり方の歴史と将来に向けての方向性>**

- ◇ **古くから川とまちが密接に関わり、川が人々の暮らしを支えてきた**
  - ・ 河川に囲まれる江戸川区は、古くから生活、産業、舟運等の川との密接な関わりをもち、川がまちの繁栄や暮らしを支えてきた
- ◇ **しかし水害との戦いにより高い堤防が作られ川と人の関わりが希薄になる**
  - ・ 江戸川区は水害のまちと呼ばれ、幾度も大水害に苦しめられてきた（昭和22年カスリーン台風：区の60%以上浸水、被災者13.3万人等）
  - ・ 水害防止のための堤防整備が進捗したが、直立型に近い堤防のため、人と川との関わりが希薄になる
- ◇ **そして水害の歴史を経て、近年では川の空間を有効に利用する取組みが進む**
  - ・ 水害を経て、河川敷の広場やグラウンド等の憩いの場づくり、堤防上の散策路、水上バス等の水面利用等の河川空間利用が進む
  - ・ また川づくりへの区民参加や川を介した交流が今後とも増えていく
- ◆ **これからの江戸川区は、水害の歴史を二度と繰り返さない強固な防災対策による安全・安心なまちを第一として目指すとともに、川と共に暮らし、人と川の多彩な関わりを生み出すような沿川地域づくりを目指し、自然や人にやさしい川のあるまちとして、次世代にしっかりと受け継いでいく**

スーパー堤防は沿川地域との一体整備が必要

**<江戸川区における沿川まちづくりの基本方針>**

**①スーパー堤防整備による強固な水防のまちづくり**

江戸川区は、大河川に囲まれる最下流の低地の都市であることから、超過洪水はもとより、特に、これまでの予測を上回る異常潮位による高潮により、一旦破堤すると、甚大な被害を被る可能性が高い。

そこで、これまでの予測を上回る異常潮位による高潮、超過洪水、大地震にも破堤しないスーパー堤防の整備を図り、強固な水防のまちづくりを進める。

**②スーパー堤防と連携した防災上の拠点「防災コア」づくり**

江戸川区は、洪水時に河川敷の広域避難場所が使用できなくなることから、スーパー堤防上は、強固な地盤を有することも含めて、震災、大火、水害等の様々な災害時において、有効な防災空間として機能することができる。

そこで、スーパー堤防上において、緊急の避難や救援等に対応できる防災コアの形成を考える。

防災コアの候補地としては、沿川の学校の建替えや公園・緑地の整備等との連携、公益施設や団地等の大規模施設の建替えとの連携、病院や公益施設等の堤防上への移転整備等が考えられ、校庭や広場のヘリポート利用や高所となる建物への避難・防災備蓄等が可能となる。

また、防災船着場等の河川空間の防災機能との連携も考えられる。

**③スーパー堤防と併せて整備が必要な市街地の改善を促進し、市街地の防災性を向上させるまちづくり**

江戸川区は、沿川の多くを占める密集市街地や基盤未整備地域の改善を図ることが必要であることから、スーパー堤防と併せて、生活基盤整備や不燃化等を促進するとともに、市街地改善のモデルとして捉えることにより、スーパー堤防外の市街地再編を連続的に促進させる。

また、スーパー堤防と併せて、河川区域の公共用地としての活用により、河川沿いの都市計画道路や歩行者動線等の整備を促進し、河川沿いの道路アクセスを強化する。

**④川が身近にある暮らしを満喫できる特色のある水辺空間づくり**

江戸川区は、河川敷のレクリエーション空間や沿川の散策路等が特徴であることから、芝生敷のグラウンドでのスポーツ、川沿いの乗馬、植物や野鳥の観察等が気軽にでき、美しい川並み景観や緑を楽しみながら歩ける等、沿川の水辺空間の魅力化を図る。

また、平常時は、多彩な水面のレクリエーション利用と連携し、防災船着場等を活用しながら、川が身近にある暮らしを満喫できる水辺空間づくりを進める。



## ＜江戸川区における沿川まちづくりの基本方針＞

- スーパー堤防整備による強固な水防のまちづくり
- スーパー堤防と連携した防災上の拠点「防災コア」づくり
- スーパー堤防と併せて整備が必要な市街地の改善を促進し、市街地の防災性を向上させるまちづくり
- 川が身近にある暮らしを満喫できる特色のある水辺空間づくり



小松川地区のスーパー堤防

スーパー堤防整備による  
強固な水防のまちづくり



妙典地区のスーパー堤防

沿川まちづくりの  
基本方針

スーパー堤防と連携した  
防災上の拠点「防災コア」づくり

スーパー堤防と併せて  
整備が必要な市街地の改善を促進し、  
市街地の防災性を向上させるまちづくり

川が身近にある暮らしを満喫できる  
特色のある水辺空間づくり



スーパー堤防上の小松川千本桜



妙典地区のスーパー堤防

## (2) 防災コアの形成

### 1) 防災コア形成の基本的考え方

#### ●広域避難場所や避難所等を「高さ」のある防災拠点として形成する

避難地や救援拠点の計画は、基本的に震災や大火を考慮したものであり、沿川まちづくりの基本方針に示す「防災コア」づくりは、「高さ」を持った新しい防災拠点であり、異常潮位による高潮など水害が驚異となっている江戸川区においては、有効な災害対策になるものと考えられる。

以上により、スーパー堤防上は、水害時の緊急の避難場所になるとともに、強固な地盤を有すること等から、震災、大火、水害等の様々な災害に対応できる避難・救援拠点として機能することが考えられる。

本検討では、スーパー堤防上の防災コア形成の候補地の考え方や空間イメージ等について検討する。

### 2) 防災コア形成の候補地の考え方

河川沿川において、現在の地域防災計画に位置づけられている「広域避難場所」(河川敷以外)、及び「避難所」を候補地として考える。

- ◇広域避難場所(河川敷以外) : 公園(篠崎公園等)、江戸川清掃工場一帯等
- ◇避難所 : 区立小学校、区立中学校、区施設等

#### <防災コア形成の候補地>

- 区立小学校、区立中学校：建替えと連携
- 区施設(公益施設)：建替えと連携
- 広域避難場所に指定されている公園(河川敷以外)：公園の整備及び再整備と連携

#### <その他、候補地としての検討施設(案)>

- 都市計画公園等：公園等の整備及び再整備と連携等
- 大規模な住宅団地：団地建替えと連携、集会所等の活用等
- 大規模な施設(レジャー施設、工場等)：建替えと連携、地域開放空間等の活用等
- スーパー堤防外の近傍において、病院や公益施設等がある地区は、スーパー堤防上への移転整備の可能性等を検討

### 3) 防災コア整備の考え方

防災コアは、沿川のスーパー堤防化を見据えて、**公共公益施設の整備、リニューアルを契機に整備**を検討する。

スーパー堤防以外の地域においても、避難所等の機能強化を進めていくことが考えられる。

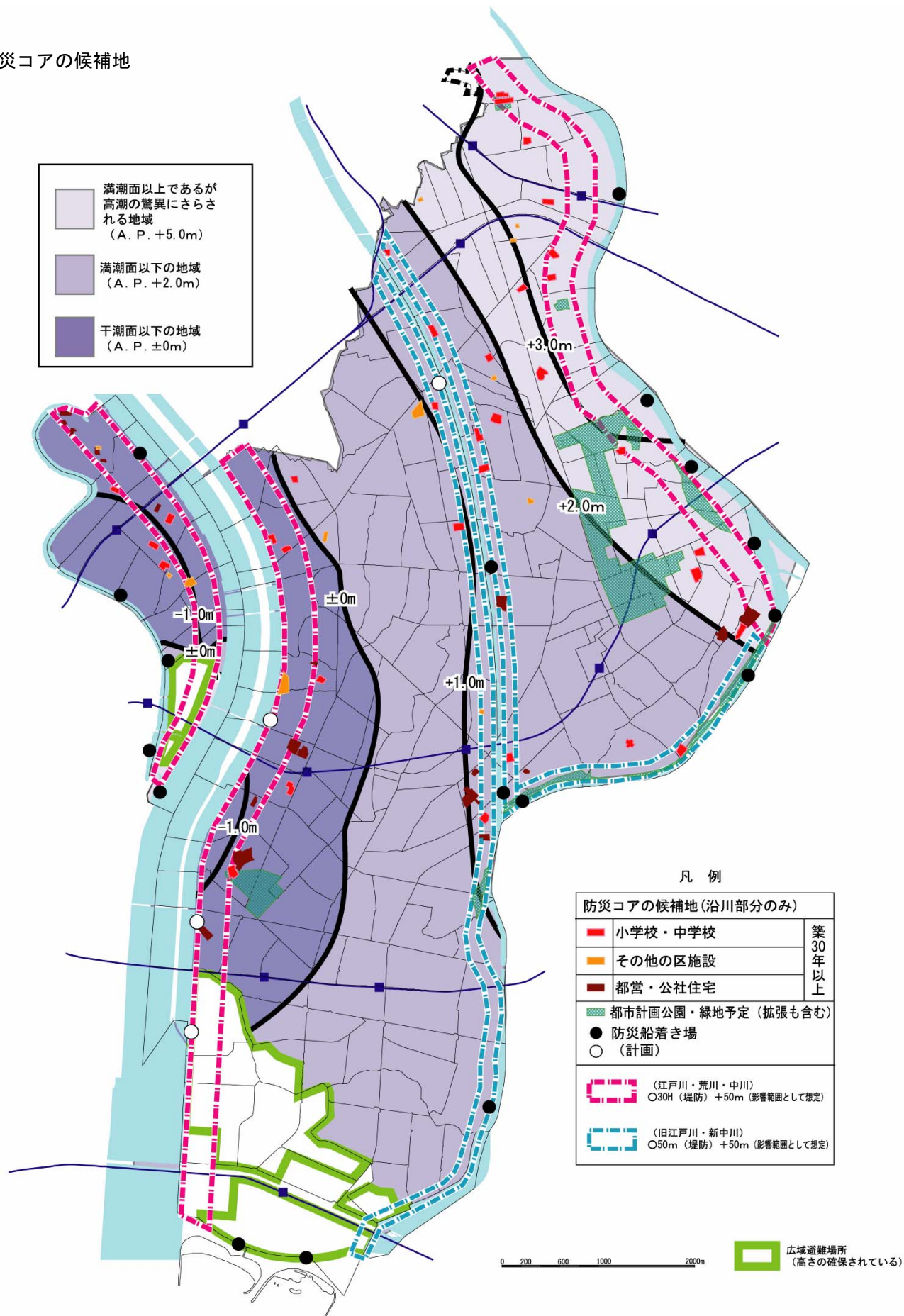
### 4) 防災コアのネーミング

防災コアのネーミングについては、区民に募集することにより、スーパー堤防整備の周知を併せて行うことも考えられる。

(例)

- ・水・防災コア
- ・防災ヒルズ
- ・防災の丘
- ・スーパー防災コア 等

■防災コアの候補地

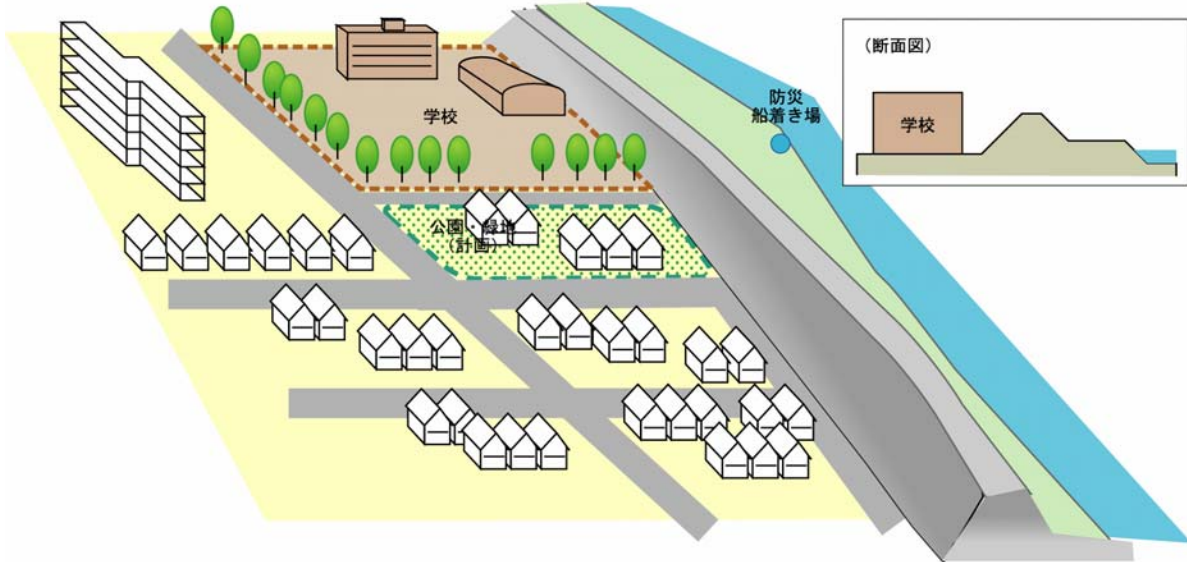


## <防災コアの空間イメージ>

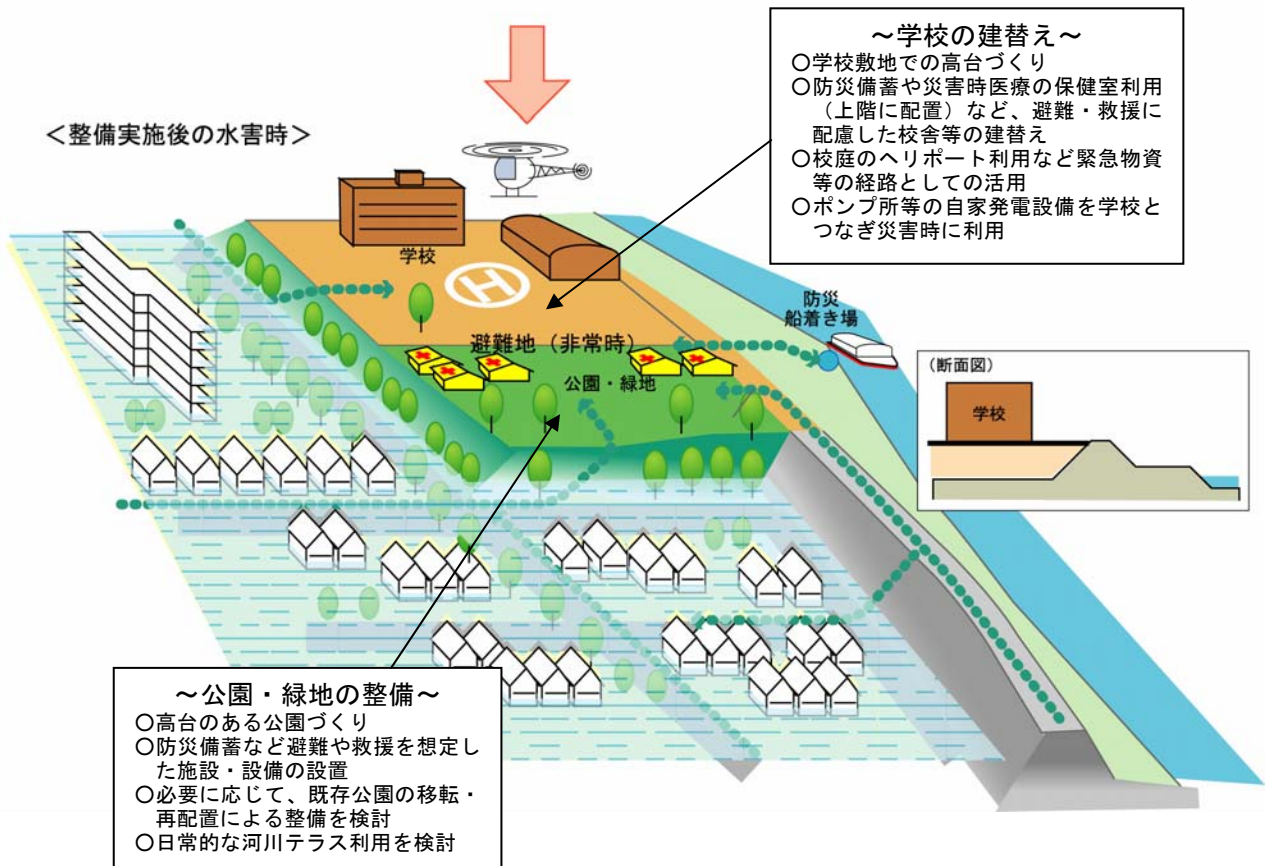
### ●既存公共公益施設の建替え等を契機とした防災コアの整備イメージ

学校の建替えや公園・緑地の整備など、公共公益施設の整備にあわせて、防災コアの整備を検討する。

#### <現状>



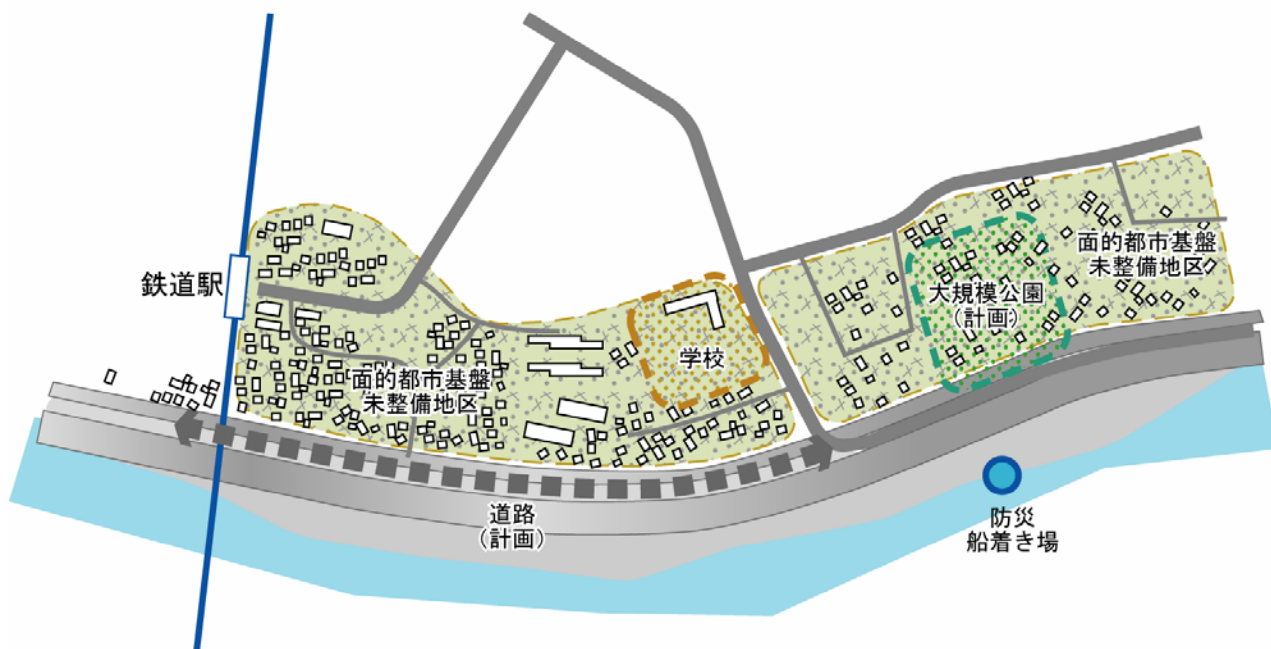
#### <整備実施後の水害時>



●面整備事業を実施した場合の防災コア整備のイメージ

都市基盤整備の必要な地域では、面整備事業等による市街地再編を通じて、スーパー堤防や道路などの都市基盤の整備とともに、学校や公園・緑地を適切に配置し、防災コアとして整備を検討する。

<現状>



<整備実施>

